

子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業 (都市と農山漁村の教育交流事業)

マタギ発祥の地・北秋田で学ぶ マタギの地恵体験継承ツアー

北秋田市

【事業のポイント】

- 自然や農山村での体験が有する教育的効果をねらう。
- 北秋田市が発祥の地といわれている「マタギ文化」を中心とした食体験と生活体験をプログラムに組み込む。
- 地元小学生との交流や学校紹介をとおして、お互いのふるさとの良さを分かち合う。



2日目：マタギの山体験「桃洞の滝めぐり」

1. 企画

(1) 事業実施の背景

北秋田市が近年力を入れている「滞在型の観光地づくり」に向けて、自然や農山村での体験が有する教育的効果に着目した「子ども交流事業」の2年目を迎えた。前回とは季節の違う夏に開催し、マタギの発祥の地と言われる北秋田市の魅力を満載した「川体験」と「山体験」をメインに、自然を活かした子どもも大人も楽しめる“マタギ体験野外プログラム”を企画した。さらに特徴的な内容の一つとして、マタギの食体験をとおして、田舎で「命をいただく」ことの意味を考えるプロセスを組み入れながら、地域住民とのふれあいを大切にしたい。

(2) ねらい

- 「マタギ文化」をとおし、自然との共生や先人の知恵を学びながら、子どもたちの学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育む。
- 力強い子どもの成長を支える体験活動として、小学生を対象とした農山村での宿泊体験活動を展開する。
- 北秋田市阿仁・森吉地区をフィールドに、体験による成長、新たな発見、世代を超えて交流する楽しみ、子どもの活動をサポートする楽しさ等、子どもも大人も楽しめる充実した体験と学びの機会をつくる。
- ふるさとの良さを知り、地域の方々に感謝する心を育てる。

2. 実施概要

(1) 実施主体

地域の民宿組合や猟友会を中心に「マタギ文化」の継承活動を推進し、地域の教育的資源を活用した持続的な取り組みを進めるため、地域の婦人会やボランティアスタッフの協力体制づくりを強化した。また、地元小学校への協力をお願いしながら、日常的な情報交換や情報の共有ができるよう協力体制を整えて行った。

- 森吉四季美湖を守る宿の会 ○阿仁猟友会 ○森吉猟友会 ○森吉山コミュニティFM開局準備会
- 前田小学校 ○前田小学校支援地域コーディネーター ○綴子小学校 ○阿仁合小学校コーディネーター
- 根森田地区婦人会 ○前田ボランティアスタッフ ○北教育事務所 ○北秋田市商工観光課 ○北秋田市教育委員会生涯学習課

(2) 開催実績

月 日	内 容
6月24日	事業日程の調整及び運営体制の検討
7月23日	第1回プラットフォーム企画運営検討会
8月8日	第2回プラットフォーム企画運営検討会
8月18日	スタッフ事前打合せと確認作業
8月19日～21日	マタギ発祥の地・北秋田で学ぶ マタギの地恵体験継承ツアー
9月22日	スタッフ実行委員会～活動のふりかえり
12月1日	活動実施報告書完成
2月3日	企画運営委員会(兼)活動報告会
3月7日	事業完了

(3) 推進月間の設定

特になし

(4) 事例の収集と発信

教育留学や子ども交流について、秋田県教育庁北教育事務所との情報共有を図った。また、「マタギの地恵体験継承ツアー報告集」(冊子)を作成し、関係機関や学校等に体験内容と成果の発信を行った。ツアー当日は、地元新聞者の取材を受けたほか、市の広報にも掲載された。

(5) 意見交換の場の設定

主として、プラットフォーム企画運営委員会や実行委員会において行った。

(6) 新たな青少年体験活動の推進方策の検討と試行

このツアーを開催することにより、地元スタッフの連携が強まり、活動内容の充実と受け入れ体制がより固まってきた。次回の参加者を増やすために、このツアーのPR方法や募集方法を改めて検討しながら、青少年体験活動の基地的フォームを確立したい。

3. 成果と課題

(1) 事業成果

自然豊かな秋田県北秋田を舞台に、北秋田が発祥の地と言われる「マタギ文化」をとおして地元住民とふれあうなかで、子どもたちは、五感をふるに使い心ゆくまで楽しみながら交流をすることができた。3日間の自然体験をとおして育んだことは、ふるさとを愛する心を育て、これから生きてゆくための人間力を培う大切なプロセスとなり、必要不可欠な要素となりえる。そのための農山村体験プログラムの有効性が実証された。今後は、参加者を増やすとともに、全国への発信を心がけ、高齢化が急速に進む地域における生きがいづくりにもつながる成果をあげたいと考えている。

(2) 事業運営上の課題

- 当初は、学校対学校の交流を予定していたが、実現できなかった。
- 委託事業費のなかに、食費や交通費免除部分がないので、都会から参加する場合の自己負担額がかさむことにより、参加者の募集が難しい面もある。
- 開催日を決定する際には、県外の情報収集による早めの日程調整が必要である。
- 参加者を募集する方法やPRの方法を検討する。

(3) 事業成果の普及啓発の課題

- 取り組みの成果を発信し、県外に北秋田での体験活動の良さをアピールして行くためのネットワークの構築を図る。
- 今後も持続可能な活動にするための仕組みづくりを推進する。
- 県や他部署との情報の共有や協働を進める。

4. 団体プロフィール

○北秋田市教育委員会生涯学習課
〒018-3312
秋田県北秋田市花園町10-5

TEL 0186-62-1130
FAX 0186-62-1669